

# 日本生活文化史学会

## 入会ご案内

近年の歴史研究は、時代の表面にあらわれたものばかりでなく、それらを裏で支えてきた「生活」に研究の対象を拡げてきました。しかしながら、こうした生活文化を研究する試みは新しい動向であって、どうしても従来の歴史学・建築学・民族学・家政学といった領域にとらわれやすい状況にあります。「日本生活文化史学会」は、従来の学問をこえ、生活文化の歴史に関心をもつ人々が“暮らし”を中心に研究をすすめ、その成果を交流する場として、昭和57年7月に創立されました。

生活文化史学は、衣食住をはじめとする人間の生活文化の発展の流れを、特定の面に限定することなく、日常生活の中でそれがどのようにかわりあってきたかを歴史的、総合的に考察しようとするものです。つまり、有名無名の人々が昔から生活をどのように工夫し、変化させ、発展させてきたのか、広い視野から生活の歴史全般をとらえようとする試みなのです。さらに、生活の歴史の研究を通して、過去、現在、そして未来にわたる人間の真の姿を探ろうとするものです。

会員は、歴史学の研究者だけでなく、人文科学・社会科学・自然科学・応用科学など歴史学以外にも日常生活とかわりのあるあらゆる分野の個人・団体が参加しています。

### 活動

《大会》 毎年1回全国大会を関東と関西で交互に開催

多彩な研究発表と熱心な討論が交わされ、さらに理事会・総会・懇親会・見学会などを通じて会員相互の交流・交歓を深める。

《研究発表会》 月例で東京にて開催（発表者およびテーマと日時は会誌奥付を参照して下さい）

会員だけでなく、ゲストを招いての発表（気軽なテーマ）と自由な討論・情報の交換の場となっている。

《見学会》 随時、国内・国外の見学会・研修会

（近畿地方の歴史探訪〔隔年〕、1989年インド、1990・1995年インドネシア、1997年中国 等）

《機関誌》 『生活文化史』（DESIGN OF LIFE 年2回発行・A5判・2段組み・112頁）

《年会費》 普通会员 7,000円

学生会員 4,000円

賛助会員 年間一口年額20,000円以上